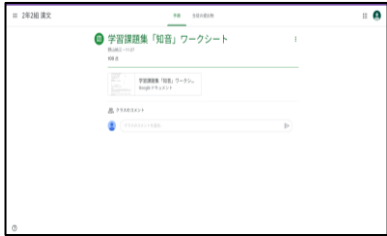


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立総社高等学校		
実践者等		野山祐三	実践日	令和4年5月13日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		国語・漢文B(故事成語)		
対象生徒(学年等)		普通科2年		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☐ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
		☒ その他(授業配信)		
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
(1) 小テスト ・ 教室にいる生徒は紙媒体で、Meet からリモートで参加している生徒はクラスルームで事前配布された PDF を用いて小テストに取り組ませる。 ・ 画面共有された機器を提示装置でスクリーンに提示し、教室にいる生徒へ解説を行う。リモートで小テストを回収。 ・ リモートで参加している生徒は自己採点の結果をフォームから送信させる。 				
(2) 知識の確認 ・ 漢字の読み方や意味を確認する。画面共有された機器に直接書き込みながら説明し、重要事項などを確認する。 ・ 問題演習の指示。問題集を忘れた生徒にはクラスルームで事前配布された PDF を見せて取り組ませる。 				
(3) 発展問題 ・ 文章中の2人の登場人物のうちどちらが優れているか考えさせる。 ・ ペアで、考えたことを共有させる。 				
(4) 振り返り ・ 本時の確認をする。				
【本時と家庭学習との連動】 (授業後) ・ 授業で行った問題演習の解説をクラスルームから配布し振り返らせる。 ・ 穴埋め形式のワークシートをクラスルームから配布する。				